

元禄線放水路

事業の目的

大蓮寺川は、勝山市東部の大師山に源を発し、山地の雨水を集めた後は勝山市街地を縫うように流下し、俣川を合流させた後に浄土寺川左岸に合流する、流域面積6.4km²、河道延長2.7kmの一級河川です。流域の約半分が市街地であり、河川両側には家屋が密集している都市河川のため、氾濫すると甚大な災害となります。過去には複数回氾濫しており、特に平成10年8月豪雨では勝山市の中心部が浸水し、非常に大きな被害が発生しました。

浸水被害を軽減し、住民の生命と財産を守るため、治水安全度を計画規模50年確率に設定し、平成4年から事業を開始しました。現川拡幅案、ダム案、遊水池案、放水路案等の比較検討および協議を行い、現川改修と放水路案を採用し、現在も事業を進めています。

平成28年に現川改修及び令和6年11月に元禄線放水路が完成し、平成10年8月豪雨に対して安全に流せる河川になりました。

今後、立石線放水路の整備を進め、計画規模50年確率を目標に整備を進める予定です。

施設の概要

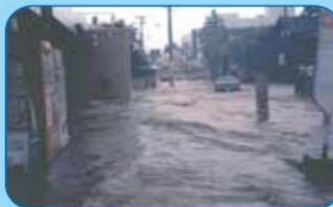


<p>【事業経過】</p> <p>平成4年 事業開始 平成16年 工事着手 平成28年 現川改修完成 平成29年 元禄線放水路堤防区間完成 令和4年 元禄線放水路土留開削区間完成 令和6年 元禄線放水路推進区間完成</p>	<p>【元禄線放水路の概要】</p> <p>全体延長 820m 堤防区間：ブロック積、樋門 土留開削区間：ボックスカルバート(2連) 推進区間：鉄筋コンクリート推進管 左支川(大蓮寺川)分流工1箇所 右支川(三谷川)分流工1箇所</p>
<p>【事業費】</p> <p>約65億円(現川改修約4億円、元禄線放水路約61億円)</p>	<p>【整備効果】</p> <p>改修前：1/2未満(29m³/s) 元禄線放水路完成：1/5 (61m³/s)>H10年8月大雨(53m³/s)</p>

浸水の被害

平成10年8月7日

発生年月	浸水家屋
昭和56年7月 (台風16号)	134戸
平成9年8月 (梅雨前線)	4戸
平成10年8月 (梅雨前線)	77戸



昭和町1丁目 主要地方道勝山丸岡線



昭和町1丁目 元禄線



栄町2丁目 義宣寺橋付近